

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講習内容についての問い合わせ先 kyoumu@sta.tenri-u.ac.jp(天理大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
学校教育の諸課題とカウンセリング		中学校・高等学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成29年8月23日(水)	40人	池田 華子(天理大学・講師) 石飛 和彦(天理大学・教授) 仲 淳(天理大学・准教授)		
会場				
天理大学杣之内キャンパス				
<b>【講習の概要】</b>				
本講習では、現在の学校教育が抱えている諸課題について、臨床教育学、教育社会学、臨床心理学の視点からアプローチします。 ①教育現場で「問題」について考える「私」を考える、②「いじめ」の会話分析、③心理カウンセリング入門の3つの小テーマに沿って講義と演習を行い、学校における教育の諸課題とカウンセリングについて考え、理解を深めます。				
<b>【小テーマ①】教育現場で「問題」について考える「私」を考える</b>			1. 5H (担当講師:池田 華子)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	教育現場では日々様々な「問題」が発生し、その解決に迫られていることと思います。「問題」の種類は多様ですが、多忙な日々の中では、なぜ今それが「問題」となっているのかという所まではふり返る余裕がないということもあるかもしれません。そもそもそれが「問題」であるのはなぜなのか。それを「問題」にする「私」のありようにまで立ち返りつつ、視点をリフレッシュする可能性を見つけていきたいと思っています。			
到達目標・確認指標	経験に基づく語り合い(グループワーク)を交えながら、「問題」を観察し整理する方法を身につけます。			
キーワード	語ること、ナラティブ、気づき			
<b>【小テーマ②】「いじめ」の会話分析入門</b>			1. 5H (担当講師:石飛 和彦)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	いま注目されている社会学の方法論として「会話分析」という手法がある。今回の講義では、特に「いじめ」の現象をとりあげ、会話分析という手法によって読み解くやりかたを解説する。そして、そこで「なにがおこっているか」を知ることから、「いじめ」解決へのひとつの糸口を考えてみたい。			
到達目標・確認指標	会話のデータ例を読み解きながら、そこに(たとえば「集団からの排除」といった)「いじめ」の現象を読み取ることができるようになるのが目標です。			
キーワード	いじめ 会話分析 エスノメソドロジー			
<b>【小テーマ③】心理カウンセリング入門①</b>			1. 5H (担当講師:仲 淳)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	21世紀を生きる多様な子どもたちに応じていくことの求められる学校教育現場においては、これからカウンセリングやコミュニケーションのスキルはより大切になってくると思います。せっかくの熱意や思いがあっても、一人一人の子どもたちと気持ちを通い合わせることができないと、生徒指導や教育相談はなかなかうまくいきません。「目に見えない相手の気持ち(心)を理解して共感的にかかわる」ということは非常にむずかしいことですが、そのためのコツのようなものをみなさんと一緒に考え、探っていききたいと思います。			
到達目標・確認指標	まず入門①で心理カウンセリングの基本的な知識や技法について紹介させていただきます。次に入門②で学級場面でも使えるセラピー的なグループワークの体験などを通して、心と心のコミュニケーション(触れ合い)についてともに考え、理解を深められる時間にとっています。			
キーワード	カウンセリング、コミュニケーション、体験的ワーク			
<b>【小テーマ④】心理カウンセリング入門②</b>			1. 5H (担当講師:仲 淳)	
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	21世紀を生きる多様な子どもたちに応じていくことの求められる学校教育現場においては、これからカウンセリングやコミュニケーションのスキルはより大切になってくると思います。せっかくの熱意や思いがあっても、一人一人の子どもたちと気持ちを通い合わせることができないと、生徒指導や教育相談はなかなかうまくいきません。「目に見えない相手の気持ち(心)を理解して共感的にかかわる」ということは非常にむずかしいことですが、そのためのコツのようなものをみなさんと一緒に考え、探っていききたいと思います。			
到達目標・確認指標	まず入門①で心理カウンセリングの基本的な知識や技法について紹介させていただきます。次に入門②で学級場面でも使えるセラピー的なグループワークの体験などを通して、心と心のコミュニケーション(触れ合い)についてともに考え、理解を深められる時間にとっています。			
キーワード	カウンセリング、コミュニケーション、体験的ワーク			
試験方法	小テーマ①②については講習の最後に15分程度の筆記試験を行う。 小テーマ③④については④の最後に20分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	各講習の最後に行う筆記試験をもとに成績評価を行う。筆記試験(小テーマ①②各25点+小テーマ③④50点)で評価し、3つの筆記試験を100点満点で成績評価を行い、総合点が60点以上を合格とする。			